

(様式1)

令和6年度 学校運営協議会自己評価表

浜松市立(県居小) 学校運営協議会長

<本年度の目標>

- 学校運営基本方針のより深い熟議、それを可能とする協議会運営の構築
- 学校運営協議会として、地域の方たちによる支援活動との関係、役割分担の明確化
→県居小サポーターの運営方法、地域や学校がつながる活動を充実させる。
- 積極的な情報発信をしていく(情報発信の検討・その方法の構築など)

<評価項目1> 学校運営の基本方針について熟議することができたか。

- 令和5年度第4回目の学校運営協議会の熟議がしっかりとできていたため、文言も理解されやすく改正してあり、より深く理解し、熟議を行うことができた。
- 前年度から実施した資料の事前配布に加え、学校側からの変更点や重点に注視した分かりやすい説明がなされたことにより、前年度より、活発で有意義な熟議をすることができた。

<評価項目2> 承認した学校運営の基本方針に沿った、教育活動の充実につながる学校支援活動などについて熟議を進めることができたか。

- 夏休みに学校評価結果(前期)について、低・中・高学年ごとに現場の先生方と話し合い、現在の問題点について把握し、その後、どのように改善してすべきかについて熟議できたことは大変有効であった。
- 学校評価の数値だけでは読み取れなかったり、場合によっては数値とは逆の意味が含まれていたりすることがあり、先生方の声を聞くことで、これらを理解することができた。
- 昨年度に引き続き、今年度も先生方と学校運営基本方針について話し合う機会があったが、本年度はその話し合いが問題点を明確にするところまでにとどまった。後の運営委員会にて問題点への対応について熟議されたが、先生方との話し合いの時に、その対応まで熟議した方が、より深い熟議ができたと思われる。

<評価項目3> 協議会での協議結果について、十分な情報発信を行ったか。

- ホームページ内で会議録などを公表したり、地域の回覧板にコミスクだよりをいれたりして、情報発信はできていたと思う。
- 情報発信については、まだまだ不十分だと思われる。
- 本年度の協議会において、情報発信について協議する機会がなかったので、情報発信について来年度検討、協議する必要がある。

<評価項目4> 今年度の取組の評価を踏まえた来年度の目標(取組の重点)

- 学校運営基本方針のより深い熟議を行う。
 - ・学校評価結果(前期)について、全職員との成果や課題についての分析と、その対応策の熟議【第2回学校運営協議会開催の仕方の検討】
- 学校運営基本方針や運営協議会に関する情報発信の検討をしていく。
 - ・コミスクだよりの内容検討
- 特色ある学校づくり(県居小に学んだことを誇りに思う活動)についての見直しをする。
 - ・「県居読本」の発達段階に応じた活用の工夫
 - ・「郷土資料室」の活用方法の検討
- 「県居小サポーター」をよりよくしていくために、どのようにすべきか検討をする。